

No. 1649

# 宮沢氏当選

—— 自民党総裁選 ——

自由民主党総裁選挙が10月27日平河町の党本部で行われました。海部首相の「重大な決意」発言から竹下派の海部続投、自派総裁候補の断念、そして宮沢支持が早々に決まったため、宮沢、渡辺、三塚の三候補者の争いもシラケたものとなりました。夕方までの自民党衆参両議員と一般党员・党友による投票の結果、宮沢喜一元蔵相が285票の過半数を得て第15代総裁に選出されました。

## 都内で初のイルカショー

首都高速道路沿いにある品川区民公園の一角にスマートな水族館が10月20日オープンしました。この「しながわ水族館」で演じられる都内では初の「イルカショー」を見ようと連日満員の盛況です。5頭のイルカは一年前に和歌山県大地沖で捕獲され、別の水族館で訓練を受けてデビューしました。1日3回のショーを見事にこなし、早くも都会の子供たちの人気者になったようです。

## 谷間に“傘の花”

—— 茨城 ——

日米両国の丘や谷に同時に巨大な傘を林立させる壮大なプロジェクト「クリスト・アンブレラ展」が10月9日から行われました。

環境の芸術家と呼ばれるクリスト氏が巨大な傘3千100本を茨城県とカリフォルニアの谷あい立てに自然も人間も覆ってしまうというイメージで36億円の費用と6年の歳月を費やして実現したイベント。茨城県常陸太田市、里美村など農村地帯約18キロにわたり高さ6メートル、直径約9メートルの巨大なアルミ製骨格に青いナイロン布の傘、1,340本が並べられました。この傘の安全管理のため係員が毎日巡回しボルトなどをチェックして万全を期しました。国道349号沿いの広場には地元の人々が広い会場をまわる観客のためにお茶の無料サービスや貸し自転車など、精一杯の協力をしていました。しかし26日アメリカの会場で強風で傘がとび観客が死亡する事故が起きたため日・米とも会期を3日残して中止となりました。

日本では会期中57万6千人の観客を集め「巨大傘の作品展」は好評だったようです。